road

芹沢みちづくり通信

みちの安全について検討をしています

4号
2026年3月発行
発行：座間市
都市部道路課
☎046-252-8576

2025まちの交通安全調査結果を公開します！

芹沢まちの交通安全調査隊では、芹沢公園東を走る市道38号線を通るクルマのことやヒヤリ・ハット体験（事故未遂）を調査しました。また、交通事故データも集めてみました。

❶市道38号線を通過するクルマが
どこから来てどこに行くか調査 ▶3 4 ページ

❷市道38号線を通過するクルマが
時速何kmで走っているか調査 ▶6 ページ

❸市道38号線で事故に遭いそうだった
ヒヤリ・ハッとした体験調査

❹市道38号線の
交通事故データの収集

▶5 ページ

困った状況の原因を知るために調査を開始

クルマが車庫から出せない！

市道38号線は、特に朝夕にとても渋滞しています。**沿道の住宅からクルマを出せなく**なってしまうことも。38号線を横断する子ども達も安全に登校できない状況です。

交差する国道246号などの影響？

同じ時間帯、交差する国道246号と座間南林間線が渋滞しています。**本来は幅員の広い道を通るべきクルマの一部**が渋滞を避けようとして38号線に入ってきてしまっているようです。

少しでも入ってくると大渋滞！

38号線は生活に密着した比較的細い道です。ここに**幅員の広い道路からのクルマが少しでも入ってくると大渋滞**を引き起こすことも。

どこから来てどこに行くか調べてみよう！

そこで、まずは38号線を走るクルマが**どこから来てどこへ行くのか、どのぐらいの速さで走っているのか**、そして、歩いている人が**どんな体験をしているか**を調べることにしました。

みちの安全をみんなで考えよう

調査をしながら

改めてみちの状況を確認しました

❶交差点に、北・東・南の３方向からクルマが進入しています。狭い交差点なので、曲がりきれず切り返したり、反対車線にふくらむ左折車がみられます。
見通しが悪くゆっくり慎重に曲がるクルマもいれば、交差点を早く抜けようと乱暴に曲がる危ないクルマもいます。

❷この先の①交差点を先頭にクルマの長い列ができています。この道が渋滞しはじめると地区内のより細い生活道路にもクルマが入ってきます。

❸クルマの多い道ですが自転車や歩行者も通行しています。狭い道で相互通行のためか、クルマが白線を踏んだり越えたりして走るようすが見られました。追い越される時には危険を感じる自転車・歩行者も多いでしょう。

❹この道を通るクルマはさまざまです。時々、大型のトラックも通行しています。道幅の狭い場所では、片方が止まって待っていることもよくあります。

❺狭い道ですが、ところどころ見通しがきく区間もあります。このような場所で対向車が来ない時は、アクセルをふかして、時速30kmを超えて走るクルマもみられます

コメント：国士舘大学 寺内義典教授

次のページは
どこから来てどこに行くか調査

2025年10月15日（水）のデータから

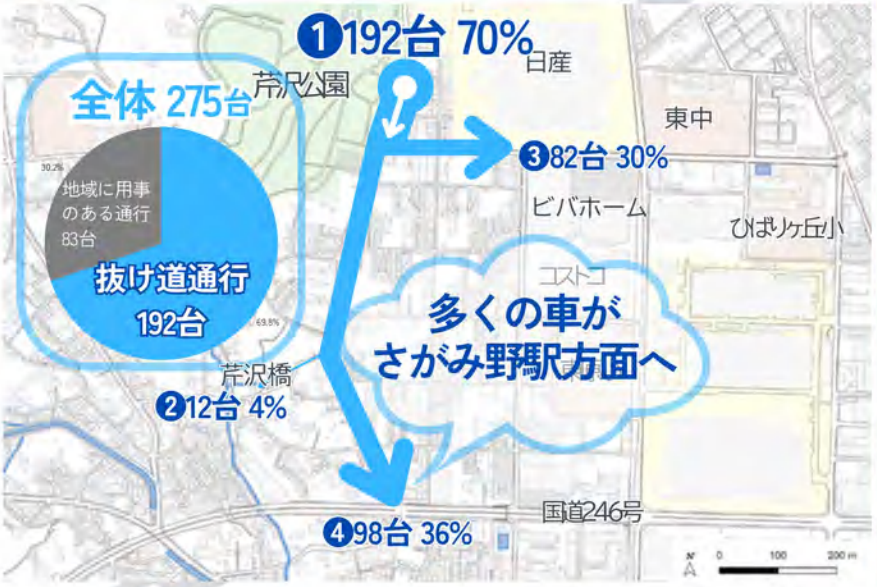
朝の忙しい通勤時間帯です

平日朝に地域を抜けるクルマの流れ

北：配水場南西角から

北から地区に入ってくるクルマのうち、192台(70%)が地区を通りぬけて外へ出ていきます。そのうち82台(30%)は、芹沢公園東駐車場前丁字路交差点を左に曲がって東へ向かいます。

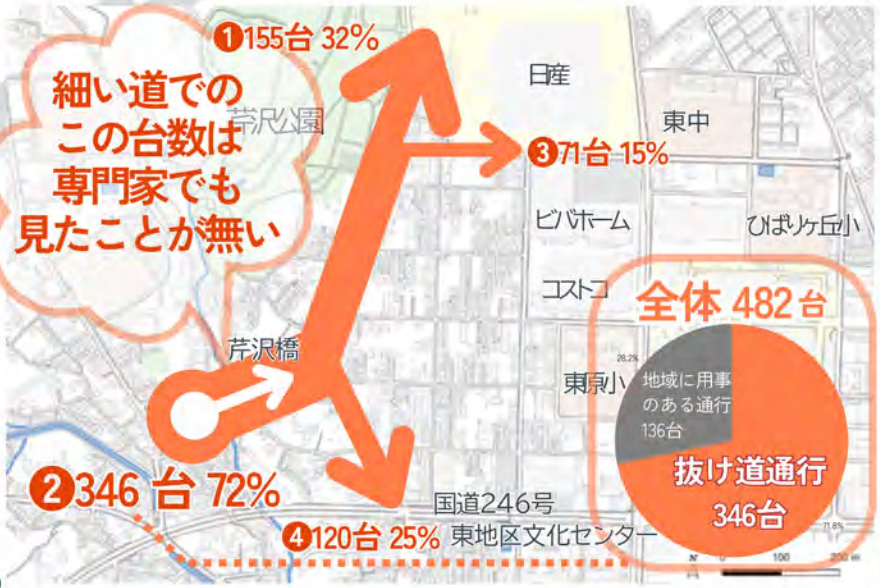
98台(36%)は、南にある国道246号の文化センター前交差点へ向かい、12台(4%)は、芹沢橋をわたって西へ向かいます。



西：芹沢橋から

西から芹沢橋をわたって地区に入るクルマのうち、346台(72%)が地区を通りぬけます。そのうち120台(25%) は、南の国道246号 の文化センター前交差点へ向かいます。

北へ向かうクルマは226台(47%)です。そのうち71台(15%)は、芹沢公園東駐車場前丁字路交差点で東へ進み、 残りの155台(32%)は、そのまま北へまっすぐ進みます。



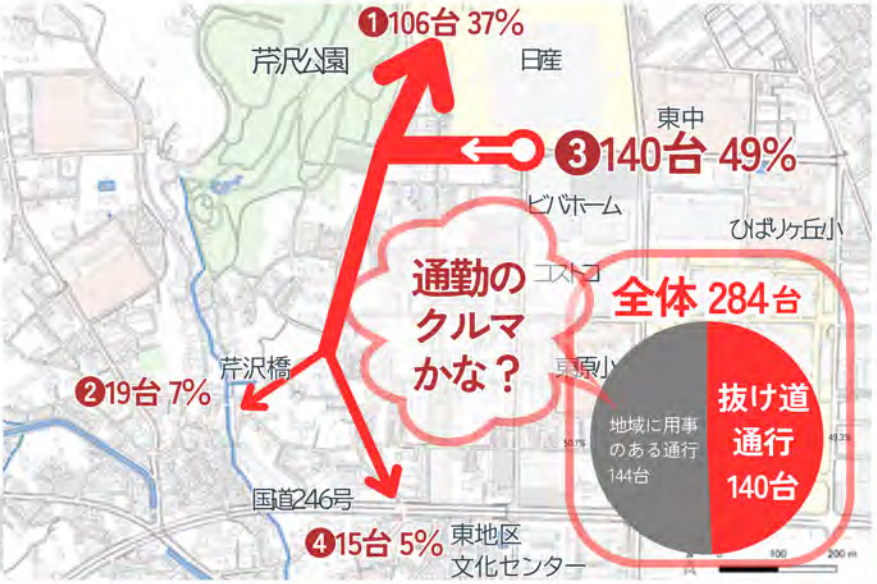
東：ビバホーム北西角から

東のビバホーム北の通りから入るクルマのうち、192台(49%)が地区を通りぬけます。

クルマは芹沢公園東駐車場前丁字路交差点に集まり、3つの方向に分かれます。通りぬけるクルマの106台(37%)は、右に曲がって北へ向かいます。

残りは左に曲がって南へ向かいます。芹沢橋へ向かう流れと、国道246号の文化センター前交差点へ向かう流れに分かれます。

なお、144台(51%)は地区に用事のあるクルマでした。時間帯を考えると地区内への通勤のクルマと推察できます。



※四捨五入の影響で割合の合計が合わない場合があります

秋の快晴の休日
芹沢公園駐車場は
満車でした

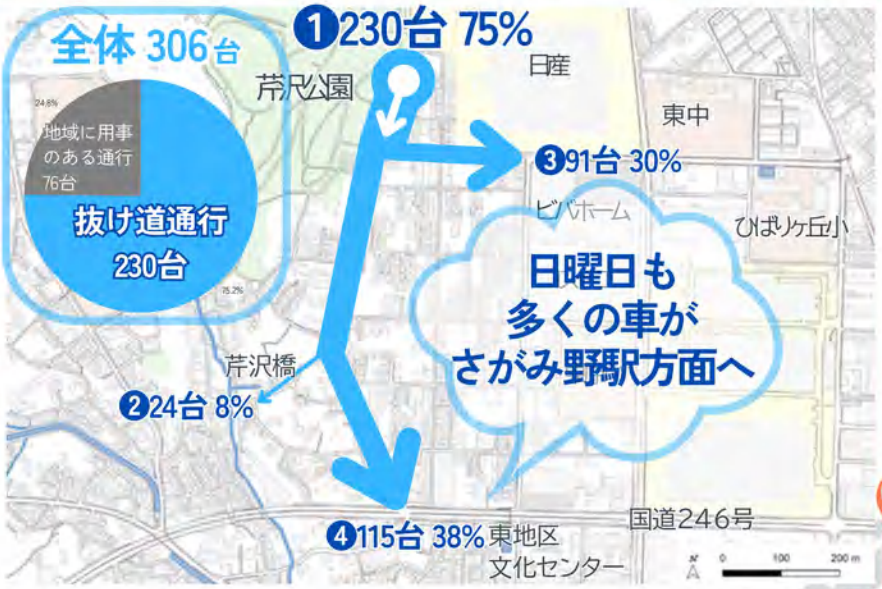
2025年10月12日（日）のデータから

日曜昼に地域を抜けるクルマの流れ

❶北:配水場南西角から

北から地区に入ってくるクルマのうち、230台(75%)が地区を通りぬけて外へ出ていきます。そのうち91台(30%)は芹沢公園東駐車場前丁字路交差点を左に曲がり、東へ流れます。更に南に向かうクルマのうち24台(8%)は、芹沢橋をわたって西へ向かいます。

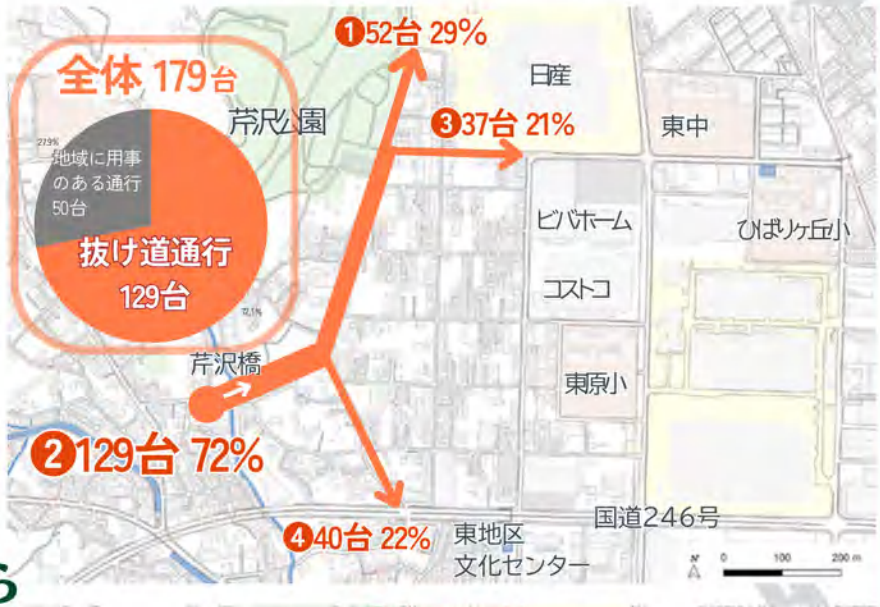
残りの115台(38%)は、国道246号の文化センター前交差点へ向かいます。この国道246号方面に南へ向かうクルマのほとんどは国道246号には入らず、そのまま南へまっすぐ流れます。



❷西:芹沢橋から

西から芹沢橋をわたって地区に入るクルマのうち、129台(72%)が地区を通りぬけ、そのうち40台(22%)が右折し、南にある国道246号の文化センター前交差点へ向かいます。

北へ向かうクルマは89台(50%)です。そのうち37台(21%)は、芹沢公園東駐車場前丁字路交差点で東へ進み、残りの52台(29%)は、そのまま北へまっすぐ流れます。

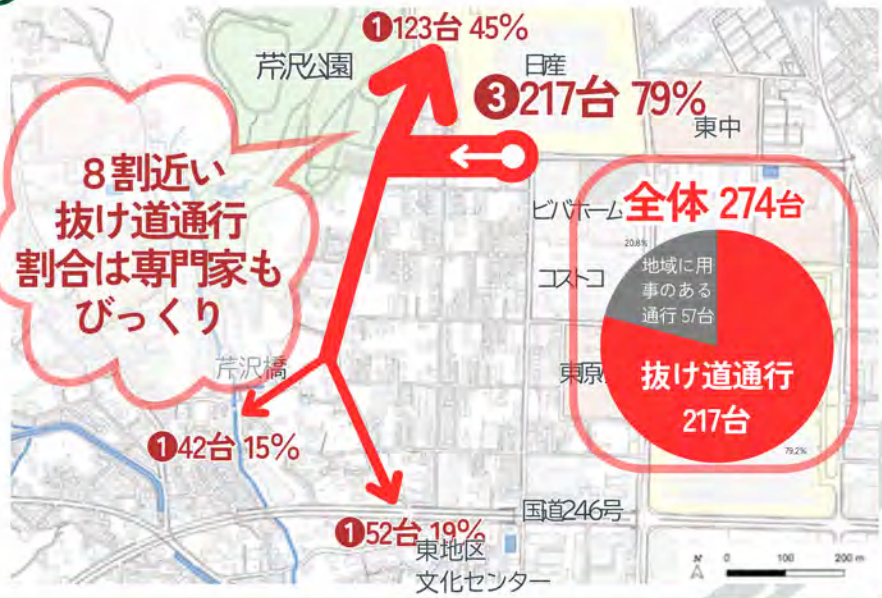


❸東:ビバホーム北西角から

東から入るクルマのうち、217台(79%)が、地区を通りぬけます。通りぬけるクルマのうち123台(45%)は、右に曲がって北へ向かい、残りの94台(34%)は左に曲がって南へ向かいます。

南へ向かうクルマは芹沢橋へ向かう流れが42台(15%)と、国道246号の文化センター前交差点へ向かう流れが52台(19%)に分かれます。

当日は芹沢公園の来園者も多く、日産座間工場でのイベントもあったことなどがクルマの流れに影響していると思われます。



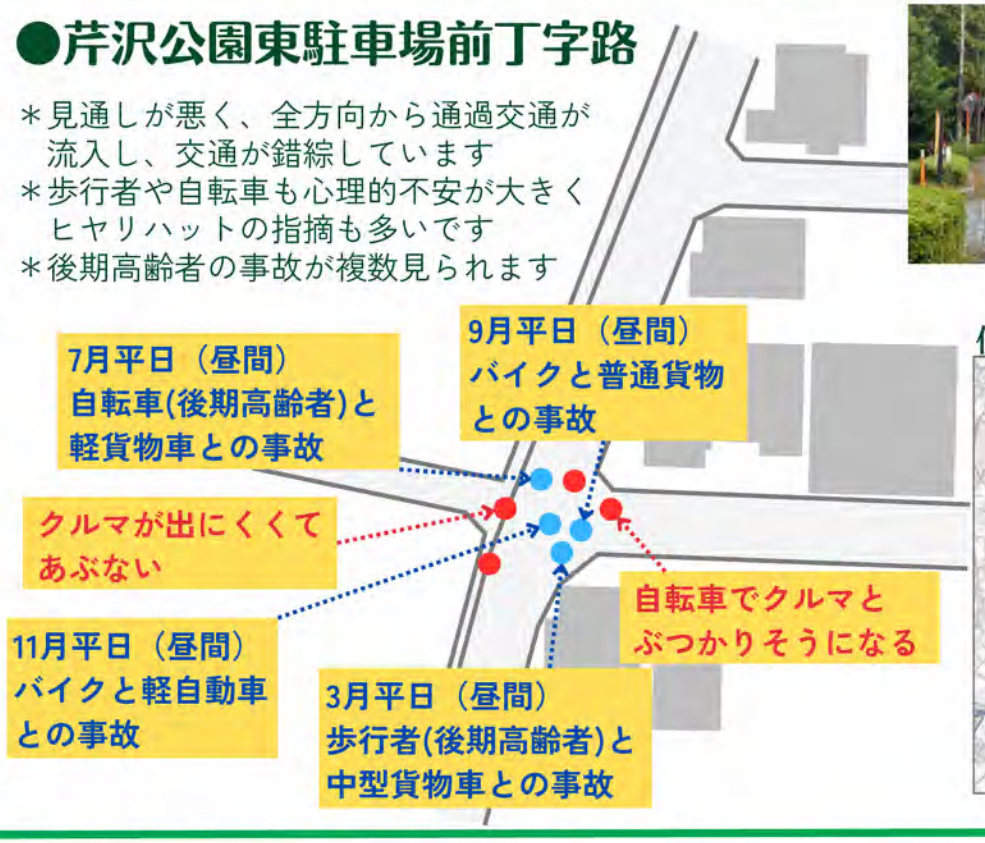
※四捨五入の影響で割合の合計が合わない場合があります

交差点で起きていることをまとめてみました！

事故とヒヤリハット

●芹沢公園東駐車場前丁字路

＊見通しが悪く、全方向から通過交通が流入し、交通が錯綜しています
＊歩行者や自転車も心理的不安が大きくヒヤリハットの指摘も多いです
＊後期高齢者の事故が複数見られます



位置図

●山王神社南西角交差点

＊ここだけでなく、この路線の交差点は、ヒヤリハットが特に多いです
＊歩行者が横断できないなどの指摘が多く見られます
＊速度超過も見られる場所です

位置図

時速何kmで走っているか調査

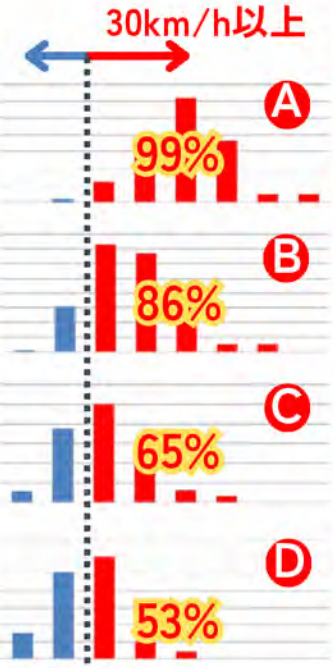
クルマの速度をはかってみました

速度違反の割合

ほとんどのクルマが速度超過

市道38号線は**時速30kmに速度規制**されていますが、芹沢公園東側駐車場前丁字路の南側で半数以上の**55％～65％が速度超過**して走行しています。

また、道路幅員が比較的広い芹沢公園東側駐車場前丁字路の北側は、**86％～99％が速度超過**している状況です。



今回実施した調査について

(1)どこから来てどこに行くか調査
調査名：ナンバープレート調査
調査日時：2025年10月12日・15日
調査個所：12日11個所、15日８箇所

(2) 時速何kmで走っているか調査
調査名：速度調査
調査日時：2025年10月15日
調査個所：４箇所

(3)ヒヤリ・ハッとした体験調査
調査名：ヒヤリ・ハット調査
調査期間：2025年7月～10月
調査協力数：282人

(4)事故データ
情報元：神奈川県警察公開の事故情報
期間：2019年～2024年(６年間)

※国士舘大学寺内研究室で加工

【お知らせ】 開催決定！

芹沢交通ミニフェア

４月11日 (土) 11：00～15：00

芹沢公園北管理棟 付近

交通調査の結果報告のほか、**交通安全教室**や**体験コーナー**など盛りだくさん。
大人も子どもも楽しめる**クイズラリー**のコーナーもあるよ！ **入場無料**

（雨天時は規模を縮小して実施）

自転車シミュレーターも体験できるよ！

みちの安全の検討は２ヵ年で進めています

座間市では、２か年でみちの安全の検討を地域の皆さまと進めています。
2025年度は、現状把握や地域の方々の声をお聞きしてまとめます。2026年度は、複数の交通対策を検討し、実験。実現に向けての検討を行います。

'25
＊検討開始のお知らせ
＊調査による現状把握
＊皆さまのご意見の把握
など

'26
＊交通対策の比較
＊実験での効果測定
＊実現に向けての検討
など

芹沢みちづくり通信　4号
発行者　座間市都市部道路課　☎046-252-8576
発行日　2026年３月
編集・デザイン　株式会社 C-ROW（シロウ）
監修　国士舘大学理工学部　寺内義典教授